

令和 2 年度さくら市当初予算の概要について

歳入については、市税の伸びは堅調に推移しているものの、地方交付税については、激減緩和の措置としてピーク時には約 6 億 8 千万円が加算され交付されていた普通交付税の特例期間が本年度（令和元年度）で終了いたします。歳出では合併特例債を活用した大型事業の公債費が令和 3 年度にピークを迎えることから、経常収支比率が昨年度から 4 ポイント悪化するなど財政の硬直化が進み、令和 2 年度予算編成は厳しいものとなりました。

医療、介護、福祉などの社会保障関連経費が急増する課題への対応や耐用年数を迎えていく公共施設等維持更新費用の増嵩など、厳しい財政状況は今後も続くことが確実であります。

このように厳しい状況ではありますが、住民福祉の向上のため出来得る限り住民ニーズに応え、持続可能な自治体経営のためには、かつてなかったような果敢さをもって臨んでいく覚悟が必要であります。

令和 2 年度の予算編成を開始するに当たって、令和 2 年度当初予算編成方針とともに、政策経営の基本的な考え方及び令和

2年度に取り組む重点事項等を掲げた「令和2年度政策経営基本方針」を定めました。この方針を基軸として予算編成を行ってまいりましたので、新年度に取り組む主な事業について申し上げます。

令和2年度は第2次さくら市総合計画の後期基本計画並びに第2期さくら市まち・ひと・しごと総合戦略の策定年度となりますことから、近年の社会状況や本市の中長期的な将来を見据えるとともに、SDGs(エスディーズ)の理念も取り入れながら、持続可能なさくら市の未来に向けた実効性のある計画策定を進めてまいります。

また、同計画の策定に合わせ、国土強靱化基本法に基づく、「さくら市版国土強靱化計画」の策定にも取り組みます。

その上で、まず重点的に取り組むべきは、災害復旧と防災減災への対応です。台風19号で被災した農地、農業施設、生活基盤の復旧を国・県と連携し迅速に対応いたします。そして、いざという時、市民の自助共助が図られるような取組をはじめ、避難所・ハザードマップの見直しや関係機関との連携強化、庁内体制について「防災・避難対策等検証会議」において検証し、施策実行を図ります。河川強化策としては、今般の荒川に

迫った危難の克服に向け、定期的な河床整正の実施や堤防強化の早期実現に向け継続的に強く要望してまいります。また、五行川の改修の早期完成や江川の本格改修工事の実施に向けても取り組んでまいります。

さらに、内川、五行川が水位周知河川に指定され浸水想定区域が新たに設定される見込みであるため、早急に住民への周知を図ってまいります。特に被災リスクの高い喜連川市街地については、電柱に浸水想定深の現地表示を行い、地元住民はもとより観光客等の一時滞在者に対してもリスク周知を実施いたします。

次に、暮らしを支える強固な経済基盤づくりでは、農産物の売上げ 1.2 倍を掲げましたが既に 5% 増を達成しました。さらなる向上のために、高収益作物の選定や新規作物導入支援、農地の集積・集約化を推進します。

具体的には、道の駅きつれがわでの農産物売上向上に向けた取組や新品種の導入、次代の農業を担う人材育成に対する支援を実施します。

また、商店の売上げを伸ばす取組や地元企業への支援、さらには企業誘致の促進を図ります。主な事業としては、昨年度に

継続し、商店街の景観・ホスピタリティ向上事業に取り組みます。

機能的で住みやすい安全な都市機能では、氏家駅周辺整備として、駅東・西地区の面的な魅力向上の具体的な検討に着手するほか、喜連川市街地の魅力向上やお丸山の再生に向けた取組を推進いたします。また、国の交付金事業を活用し、5年間の集中的な取組として広域農道、市道、その他の生活道路など市民生活を支える道路ネットワークの整備に努めます。

主な事業として、氏家駅東地区魅力向上事業や地方創生道整備交付金を活用し、市道と広域農道等を一体的且つ効率的な整備を図ります。

文化薫る心豊かな人材育成では、学力向上、ICT教育の推進、給食センター整備に重点を置いて取り組んでまいります。主な事業としては、小中学生に対するタブレット導入を進めます。また、給食センターの早期着工を目指し基本構想の策定業務に着手いたします。さらに、スポーツ施設の充実として、新たに総合公園にテニスなど多種目で利用できる「壁打ち施設」の整備に着手いたします。

福祉の充実と安心の社会保障においては、地域包括ケア体制の確立に向けた取組みを推進するとともに、高齢者の保健事業と介護の一体化の取組みも始まります。

また、課題であった待機児童については、本年4月には解消する見込みですが、引き続き取り組んでまいります。学校においては、本年は4月から新たなスクールバスの運行を行います。このバスの運行の仕組みを、校外学習、市関連イベント実施時の2次交通、市民活動、自治会活動や高齢者サロン活動などの地域包括ケアに資する活用を検討してまいります。

最後に、積極的なシティプロモーションでは、東京2020(ニッポン2020)オリンピック・パラリンピック競技大会や市内で開催されるフットゴルフワールドカップを絶好の機会と捉え、多様な手法を用いたシティプロモーションを進めてまいります。

主な事業としては、ハンガリートライアスロン選手団の事前キャンプ等をサポートするとともに、ハンガリーのホストタウンとして、市民の方が一流アスリートやハンガリー文化等に触れる機会を創ってまいります。

また、フットゴルフワールドカップ期間中、関係者やギャラリーに市内を巡り楽しんでいただける取組を行います。そのほか、さくらテラスや道の駅きつれがわ、瀧澤家住宅リニューアル等での各種イベント・お祭り等の活性化支援や温泉、自然、歴史顕彰等あらゆる手段で、「ちょうどいい！さくら市」の魅力向上と発信に取り組めます。

桜の郷づくり事業については、引き続き市内各所に桜の植栽を進めるとともに、勝山公園・お丸山公園を桜の見本園とする取組を進めます。

また、市民活動支援センターを4月よりオープンし、市民の多様な活動を支える体制を整備いたします。

以上、本年の市政推進にあたっての所信と取組の一端について申し上げます。

それでは、令和2年度さくら市の当初予算の概要についてご説明申し上げます。

令和2年度一般会計予算は、183億円となり前年度当初予算182億円に対し、1億円増額し、0.5%のプラスとなりました。

増額の主な要因は、地方創生道整備交付金を活用した道路整備、幼児保育・教育無償化に伴う給付費、学校 ICT 教育推進などの事業費が増加したことによるものです。

まず、歳入についてであります。

根幹となる市税につきましては、税制改正により法人市民税は減となりますが、雇用・所得環境の改善に伴う個人市民税の増や家屋の新增築に伴う固定資産税の増などにより、対前年度比 0.2%、1,451 万 4 千円増の 67 億 714 万円を見込みました。

地方譲与税や各種交付金につきましては、過去の実績や地方財政計画に基づき計上いたしました。

地方交付税につきましては、過去の交付実績や地方財政計画に基づく試算に加え、普通交付税の合併算定替終了や震災復興特別交付税の減額を見込み、対前年度比 16.9%、4 億 7,270 万 1 千円減の 23 億 2,100 万円を計上いたしました。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金 6 億 5,722 万 3 千円、減債基金繰入金 5 億円など、対前年度比 3.4%、3,843 万円増の、11 億 7,412 万 2 千円を計上し、財源の不足に対応することといたしました。

繰越金につきましては、前年度と同額の、4 億円を計上いたしました。

市債につきましては、臨時財政対策債を 6 億円、市道整備事業債 2 億 4,620 万円、氏家公民館給排水改修事業債 1 億 3,200 万円などの発行を見込み、全体では対前年度比 3.0%、3,720 万円減の、12 億 2,180 万円を計上いたしました。

次に歳出についてであります。

まず、1 款議会費では、議会の運営及び活動に関する経費として、対前年度比 2.8%、504 万 3 千円減の 1 億 7,395 万 9 千円を計上いたしました。

次に総務費では、財産管理費、企画費、情報処理費、市税の賦課徴収費など、対前年度比 8.7%、1 億 6,276 万 4 千円増の 20 億 3,414 万円を計上いたしました。

民生費では、介護給付・訓練等給付事業費、後期高齢者医療費、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への繰出金、保育園費、児童手当支給事業費、生活保護者扶助事業費など対前年度比 4.3%、2 億 6,397 万 8 千円増の 64 億 128 万 9 千円を計上いたしました。

衛生費では、各各種がん検診事業費、氏家上水道第二次拡張出資事業費、定期予防接種事業費、清掃費各種負担金、ごみ収集事業費などで、対前年度比 42.4%、8 億 2,664 万 8 千円減の 11 億 2,207 万 7 千円を計上いたしました。

労働費では、勤労者住宅資金融資事業費で、対前年度比 28.6%、20 万円減の 50 万円を計上いたしました。

農林水産業費では、農業次世代人材投資事業費、多面的機能支払交付金事業費、総合交流ターミナル施設維持管理事業費などで、対前年度比 10.0%、5,279 万 6 千円増の 5 億 8,116 万 2 千円を計上いたしました。

商工費では、企業誘致や商店街の景観・ホスピタリティ向上事業費、商工会や観光協会への助成、観光では、温泉施設の運営経費や観光県外 P R 事業費などで、対前年度比 5.8%、5,739 万 9 千円減の 9 億 2,472 万 9 千円を計上いたしました。

土木費では、道路維持補修事業費、道路改良事業費、市道 U 1-10 号道路改良事業費、下水道事業会計負担金、上阿久津台地土地区画整理事業特別会計への繰出金、都市公園管理事業費などで、対前年度比 21.1%、3 億 2,233 万 1 千円増の 18 億 4,657 万 6 千円を計上いたしました。

消防費では、消防団運営事業費、塩谷広域行政組合消防費負担金などで、対前年度比 6.7%、5,400 万 1 千円減の 7 億 4,789 万 6 千円を計上いたしました。

教育費では、非常勤講師活用事業費、学校 ICT 管理事業費、幼稚園事業費などで、対前年度比 11.9%、2 億 8,158 万 2 千円増の、26 億 5,455 万 8 千円を計上いたしました。

災害復旧費では、300 万円を計上し、公債費では、対前年度比 2.2%、4,016 万円減の、17 億 9,011 万 4 千円を計上、予備費では 2,000 万円をそれぞれ計上いたしました。

次に、性質別歳出の概要についてであります。

義務的経費につきましては、対前年度比 4.7%、3 億 6,627 万 1 千円増の 82 億 2,502 万 4 千円となりました。

まず、人件費につきましては、新たに創設される会計年度任用職員 360 人を含めて、全職員 672 人分の年間所要額を計上し、対前年度比 16.8%、4 億 5,715 万 8 千円増の、31 億 7,978 万 4 千円となりました。特別会計・企業会計を含む全体の職員数は、711 人となります。

次に、扶助費につきましては、18歳まで現物給付を行う児童医療費助成事業費、生活保護費などを計上し、対前年度比1.5%、5,072万4千円減の32億5,512万3千円となりました。

次に、補助費等につきましては、幼児保育・教育無償化に伴う子ども・子育て支援事業費、幼稚園事業費、下水道事業負担金などを計上し、対前年度比11.0%、3億5,174万3千円増の35億6,265万7千円となりました。

次に、普通建設事業費につきましては、道路整備事業や氏家公民館給排水等工事など、住民福祉の向上と地域の活性化を図ることを主眼として、当面する諸事業の必要経費を計上し、対前年度比0.2%、233万3千円減の10億9,457万2千円となりました。

次に特別会計・企業会計予算について申し上げます。

上阿久津台地土地区画整理事業特別会計では、区画道路築造工事費、整地造成工事費、物件移転補償など対前年度比、5.8%、2,622万2千円減の4億2,279万4千円を計上いたしました。

国民健康保険特別会計では、療養給付費、高額療養費など対前年度比、5.3%、2億2,960万2千円減の41億1,578万8千円を計上いたしました。

後期高齢者医療特別会計では、後期高齢者医療広域連合納付金など対前年度比、8.4%、3,578万7千円増の4億5,936万7千円を計上いたしました。

介護保険特別会計では、居宅介護、地域密着型介護、施設介護、介護予防サービス給付費など、対前年度比2.7%、8,736万1千円増の32億6,810万4千円を計上いたしました。

企業会計では、水道事業で、未普及地域解消事業工事費、配水設備の維持管理に係る経費、企業債償還費などを計上し、支

出合計で、対前年度比 4.9%、8,534 万 9 千円減の 16 億 5,426 万円を計上いたしました。

なお、未普及地域早期解消を図るため、一般会計から 1 億円を出資することとしています。

下水道事業では、処理場の維持管理に係る経費、管路建設改良費、企業債償還費などを計上し、支出合計で、対前年度比 5.8%、1 億 1,968 万 7 千円減の 19 億 3,628 万 6 千円を計上いたしました。

次に、起債残高について申し上げます。

一般会計の起債残高の合計は、令和元年度末で約 143 億円となる見込みであります。令和 2 年度末では約 5 億円減の 138 億円程度になるものと見込んでおります。

今後、大規模な事業につきましては交付税措置の有利な地方債の活用を検討しながら、将来にできるだけ負担の残らない健全財政の維持に努めてまいります。

令和 2 年度は、市制 16 年目の年となります。さらなる発展と成長をしていくためにも、引き続きさくら市の財政基盤の確立と市民福祉の向上に努めていく所存であります。

以上が令和 2 年度の当初予算の概要であります。優先・重点分野の主な事業につきましては、一覧にしておりますので、ご参照いただきたいと思います。

令和 2 年度におきましても市民の声に耳を傾けながら、予算執行を図ってまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。説明とさせていただきます。

令和2年度さくら市予算概要

(単位:千円、%)

会計名	令和2年度 当初予算(案)	前年度 当初予算	比較増減	伸率(%)
一 般 会 計	18,300,000	18,200,000	100,000	0.5
上阿久津台地土地区画整理特別会計	422,794	449,016	△ 26,222	△ 5.8
国民健康保険特別会計	4,115,788	4,345,390	△ 229,602	△ 5.3
後期高齢者医療特別会計	459,367	423,580	35,787	8.4
介護保険特別会計	3,268,104	3,180,743	87,361	2.7
計	26,566,053	26,598,729	△ 32,676	△ 0.1

水道事業会計	収益的収入	876,981	856,694	20,287	2.4
	収益的支出	813,279	813,735	△ 456	△ 0.1
	資本的収入	416,330	463,440	△ 47,110	△ 10.2
	資本的支出	840,981	925,874	△ 84,893	△ 9.2
支出合計		1,654,260	1,739,609	△ 85,349	△ 4.9

下水道事業会計	収益的収入	1,109,137	1,134,871	△ 25,734	△ 2.3
	収益的支出	953,543	1,012,239	△ 58,696	△ 5.8
	資本的収入	504,389	607,642	△ 103,253	△ 17.0
	資本的支出	982,743	1,043,734	△ 60,991	△ 5.8
支出合計		1,936,286	2,055,973	△ 119,687	△ 5.8

予算合計		30,156,599	30,394,311	△ 237,712	△ 0.8
------	--	------------	------------	-----------	-------

1 一般会計予算款別一覧表

歳 入

(単位：千円)

款	令和2年度 当初予算 (案)	構成比 %	前年度 当初予算	構成比 %	比較増減	伸 率 %
1 市 税	6,707,140	36.7	6,692,626	36.8	14,514	0.2
2 地 方 譲 与 税	208,000	1.1	204,000	1.1	4,000	2.0
3 利 子 割 交 付 金	5,000	0.0	8,000	0.0	△ 3,000	△ 37.5
4 配 当 割 交 付 金	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	15,000	0.1	15,000	0.1	0	0.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	20,000	0.1	0	0.0	20,000	皆増
7 地 方 消 費 税 交 付 金	900,000	4.9	800,000	4.4	100,000	12.5
8 ゴルフ場利用税交付金	85,000	0.5	85,000	0.5	0	0.0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	30,000	0.2	34,794	0.2	△ 4,794	△ 13.8
10 地 方 特 例 交 付 金	40,000	0.2	35,000	0.2	5,000	14.3
11 地 方 交 付 税	2,321,000	12.7	2,793,701	15.4	△ 472,701	△ 16.9
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,429	0.0	5,429	0.0	0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	101,370	0.6	238,688	1.3	△ 137,318	△ 57.5
14 使 用 料 及 び 手 数 料	232,341	1.3	228,162	1.3	4,179	1.8
15 国 庫 支 出 金	2,482,659	13.6	2,057,562	11.3	425,097	20.7
16 県 支 出 金	1,453,923	7.9	1,246,574	6.8	207,349	16.6
17 財 産 収 入	101,925	0.6	137,644	0.8	△ 35,719	△ 26.0
18 寄 附 金	40,007	0.2	40,005	0.2	2	0.0
19 繰 入 金	1,174,122	6.4	1,135,692	6.2	38,430	3.4
20 繰 越 金	400,000	2.2	400,000	2.2	0	0.0
21 諸 収 入	735,284	3.9	763,123	4.2	△ 27,839	△ 3.6
22 市 債	1,221,800	6.7	1,259,000	6.9	△ 37,200	△ 3.0
歳 入 合 計	18,300,000	100.0	18,200,000	100.0	100,000	0.5

*端数処理により、計が合わない場合があります。

歳 出

(単位：千円)

款	令和2年度 当初予算 (案)	構成比 %	前年度 当初予算	構成比 %	比較増減	伸 率 %
1 議 会 費	173,959	1.0	179,002	1.0	△ 5,043	△ 2.8
2 総 務 費	2,034,140	11.1	1,871,376	10.3	162,764	8.7
3 民 生 費	6,401,289	35.0	6,137,311	33.7	263,978	4.3
4 衛 生 費	1,122,077	6.1	1,948,725	10.7	△ 826,648	△ 42.4
5 労 働 費	500	0.0	700	0.0	△ 200	△ 28.6
6 農 林 水 産 業 費	581,162	3.2	528,366	2.9	52,796	10.0
7 商 工 費	924,729	5.1	982,128	5.4	△ 57,399	△ 5.8
8 土 木 費	1,846,576	10.1	1,524,245	8.4	322,331	21.1
9 消 防 費	747,896	4.1	801,897	4.4	△ 54,001	△ 6.7
10 教 育 費	2,654,558	14.5	2,372,976	13.0	281,582	11.9
11 災 害 復 旧 費	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
12 公 債 費	1,790,114	9.8	1,830,274	10.1	△ 40,160	△ 2.2
13 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
歳 出 合 計	18,300,000	100.0	18,200,000	100.0	100,000	0.5

*端数処理により、計が合わない場合があります。

2 一般会計歳出予算性質別総括表

(単位：千円)

性質別		令和2年度 当初予算(案)	構成比 %	前年度 当初予算	構成比 %	比較増減	伸率 %
1	人件費	3,179,784	17.4	2,722,626	15.0	457,158	16.8
	(職員給)	2,009,346	-	1,764,324	-	245,022	13.9
2	物件費	2,989,315	16.3	3,154,833	17.3	△ 165,518	△ 5.2
3	維持補修費	290,757	1.6	229,734	1.3	61,023	26.6
4	扶助費	3,255,123	17.8	3,305,847	18.2	△ 50,724	△ 1.5
5	補助費等	3,562,657	19.5	3,210,914	17.6	351,743	11.0
6	普通建設事業費	1,094,572	6.0	1,096,905	6.0	△ 2,333	△ 0.2
内訳	補助事業	294,531	1.6	160,072	0.9	134,459	84.0
	単独事業	800,041	4.4	936,833	5.1	△ 136,792	△ 14.6
7	災害復旧事業費	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
8	公債費	1,790,117	9.8	1,830,280	10.1	△ 40,163	△ 2.2
9	積立金	47,563	0.3	41,383	0.2	6,180	14.9
10	投資及び出資金	100,000	0.5	100,000	0.5	0	0.0
11	貸付金	612,500	3.3	630,200	3.5	△ 17,700	△ 2.8
12	繰出金	1,354,612	7.4	1,854,278	10.2	△ 499,666	△ 26.9
13	予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
歳出合計		18,300,000	100.0	18,200,000	100.0	100,000	0.5

*端数処理により、計が合わない場合があります。

自主財源	9,492,189	51.9	9,635,940	53.0	△ 143,751	△ 1.5
依存財源	8,807,811	48.1	8,564,060	47.0	243,751	2.8
合計	18,300,000	100.0	18,200,000	100.0	100,000	0.5

義務的経費	8,225,024	45.0	7,858,753	43.3	366,271	4.7
投資的経費	1,097,572	6.0	1,099,905	6.0	△ 2,333	△ 0.2
投資的・義務的経費以外のもの	8,977,404	49.0	9,241,342	50.7	△ 263,938	△ 2.9
合計	18,300,000	100.0	18,200,000	100.0	100,000	0.5

*端数処理により、計が合わない場合があります。

3 地方債の状況

(単位：千円)

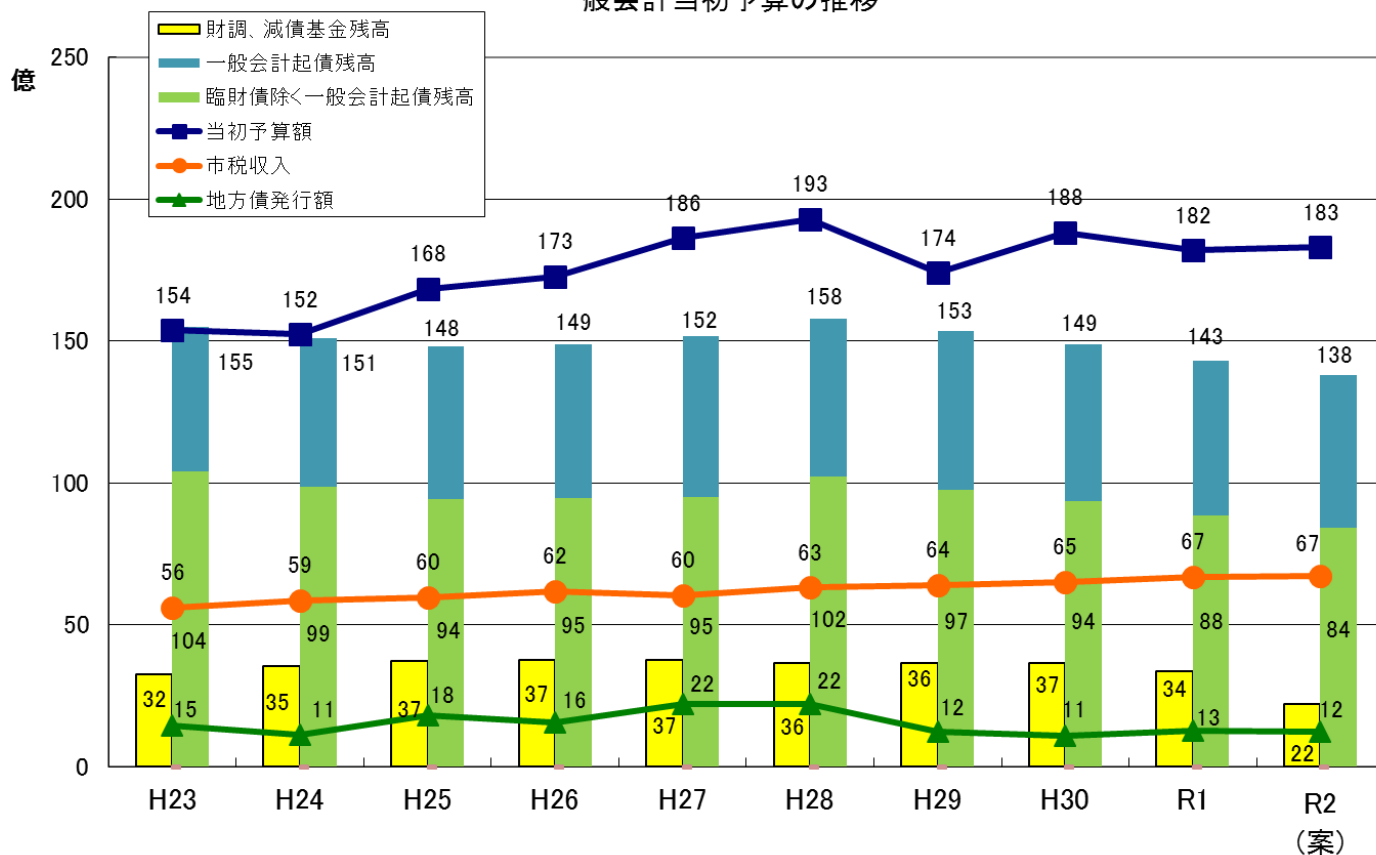
区分	令和元年度 年度末残高	令和2年度			年度末残高 増減
		発行額	元金償還額	年度末残高	
一 般 会 計	14,294,596	1,221,800	1,710,000	13,806,396	△ 488,200
合併特例債	5,778,784	0	751,045	5,027,739	△ 751,045
臨時財政対策債	5,445,994	600,000	657,008	5,388,986	△ 57,008
その他	3,069,818	621,800	301,947	3,389,671	319,853
特 別 会 計	1,741,319	105,300	164,097	1,682,522	△ 58,797
区画整理	1,741,319	105,300	164,097	1,682,522	△ 58,797
企 業 会 計	11,197,465	502,500	644,092	11,055,873	△ 141,592
水道事業	5,325,221	250,000	260,592	5,314,629	△ 10,592
下水道事業	5,872,244	252,500	383,500	5,741,244	△ 131,000
全 会 計 計	27,233,380	1,829,600	2,518,189	26,544,791	△ 688,589

4 基金の状況

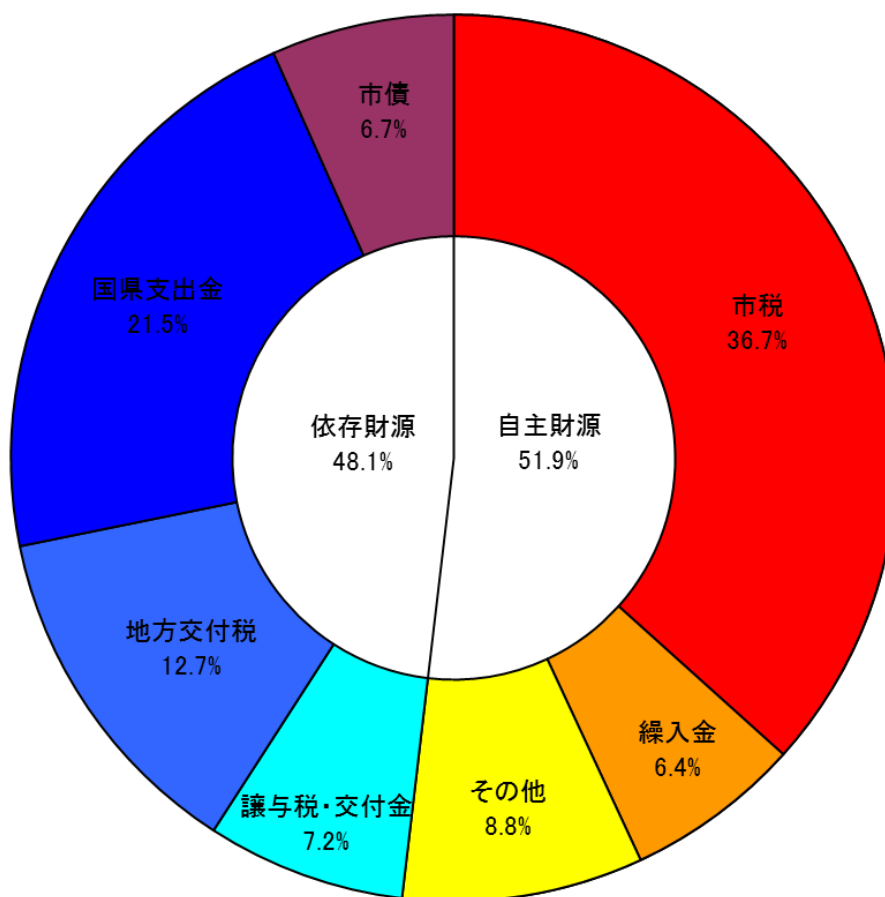
(単位：千円)

区分	令和元年度 年度末残高	令和2年度			年度末残高 増減
		取崩額	積立額	年度末残高	
財 政 調 整 基 金	2,122,942	657,223	3,943	1,469,662	△ 653,280
減 債 基 金	1,250,244	500,000	2,033	752,277	△ 497,967
庁 舎 建 設 基 金	51,229	0	84	51,313	84
市 有 施 設 整 備 基 金	1,565,573	1,530	2,544	1,566,587	1,014
学 校 整 備 基 金	625,100	0	6,048	631,148	6,048
博 物 館 資 料 取 得 基 金	23,867	2,000	41	21,908	△ 1,959
ま ち づ ぐ り 基 金	1,393,949	0	0	1,393,949	0
地 域 福 祉 基 金	261,288	0	0	261,288	0
観 光 交 流 施 設 整 備 基 金	61,000	13,367	27,000	74,633	13,633
桜が咲き誇る小都市(まち)づ ぐ り 基 金	10,736	0	0	10,736	0
藤 原 部 分 林 基 金	3,223	0	0	3,223	0
積 立 基 金 計	7,369,151	1,174,120	41,693	6,236,724	△ 1,132,427

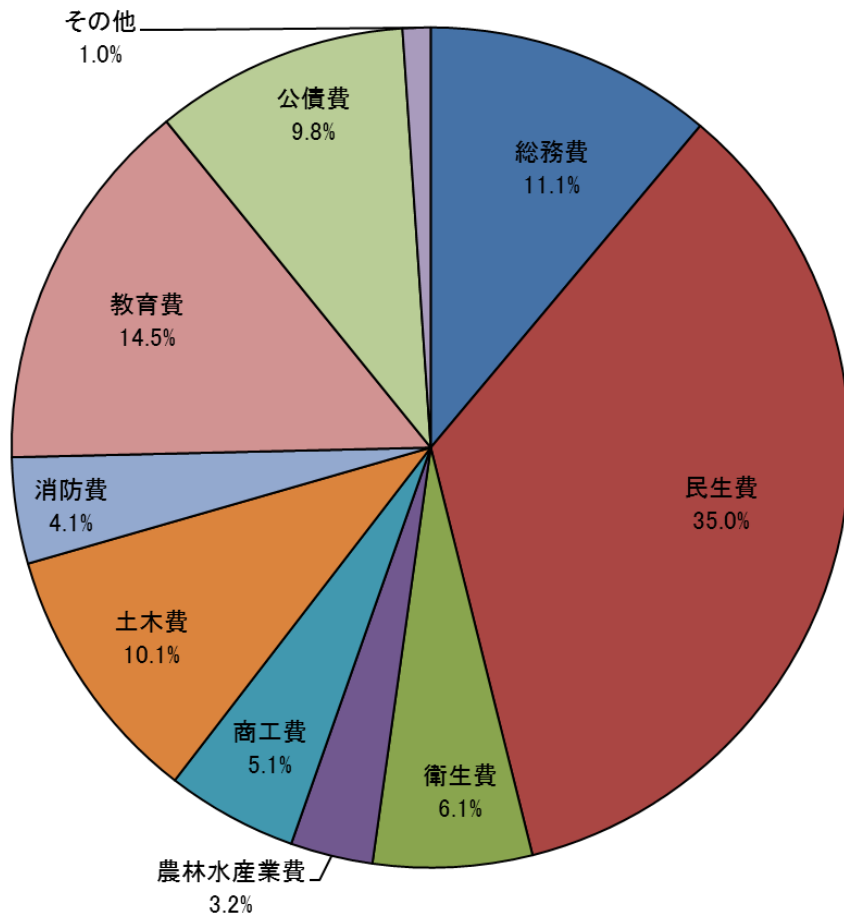
一般会計当初予算の推移



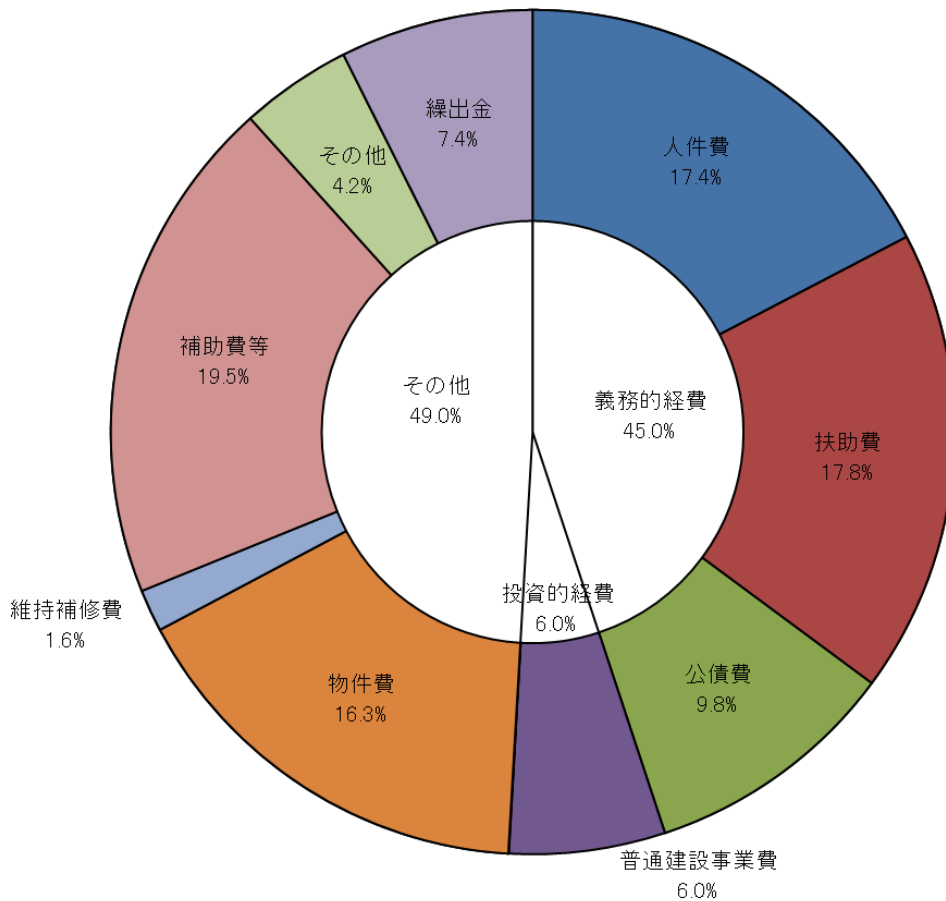
令和2年度 一般会計歳入予算



令和2年度 一般会計歳出予算(目的別)



令和2年度 一般会計歳出予算(性質別)



令和2年度に取り組む優先・重点分野の主な事業

※(新)は新規事業、(拡)は拡充事業、予算額括弧書きは国県等補助額

単位:千円

区分	予算額	事業内容
1、暮らしを支える強固な経済基盤づくり		
【高収益作物の選定や新規作物導入支援】		
園芸作物推進支援事業	12,000	園芸ハウス施設整備支援
新規作物導入者種苗代補給事業	530	新規作物(いちご、にら等)導入者の種苗代購入費を補助
農業用機械等導入支援事業	3,000	新規就農者支援及び推奨園芸作物(いちご、にら等)生産拡大にかかる導入機械経費への補助
(新)露地野菜推進支援事業	5,000	水稲からの転換支援(ねぎ等の種苗代、機械代補助)
繁殖メス牛導入事業補助事業	3,000	繁殖メス牛の導入支援
【農業生産性向上のための基盤整備】		
(拡)農業次世代人材投資事業	29,250 (29,250)	新規就農者に対し、経営が安定するまで交付金を交付(前年度比6,750千円増)
(拡)農産物売上1.2倍推進協議会運営事業	2,281	新たにスター農家支援、直売所マップ作成などに取り組む(前年度比1,200千円増)
県単かんがい排水事業	7,000 (2,450)	かんがい排水設備の整備を行い、農業経営を効率化
県単農道整備事業	27,700 (8,310)	農道の整備を行い、農業経営の効率化、車両通行の安全確保及び沿線集落住民の生活環境を向上
多面的機能支払交付金事業	76,762 (57,163)	交付金を活用した取組みを実施する地域を支援
【商店の売上を伸ばす取り組みや地元企業への支援、企業誘致の促進】		
総合交流ターミナル施設維持管理事業	90,743	道の駅きつれがわでウッドデッキの設置(7,286千円)、クアハウスボイラー更新(8,096千円)等を行う
(拡)さくらブランド認証事業	3,221	新たにブランド品を使ったレシピの開発、展示などに取り組む(前年度比203千円増)
(拡)経営活性化支援事業	10,007	店舗の店前及び店内改修を行うことを支援(前年度比5,001千円増)
(拡)商店街の景観・ホスピタリティ向上事業	19,730 (9,700)	氏家駅周辺のおもてなし空間整備工事に取り組む(前年度比9,500千円増)

区分	予算額	事業内容
2、機能的で住みやすい安全な都市機能		
【氏家駅周辺や喜連川市街地等の魅力向上】		
公有財産管理運用事業	90,373	氏家駅東口公衆トイレ改修（和式便座の洋式化、多目的トイレの最新化 15,000千円）を行う
(新) 氏家駅東地区魅力向上事業	5,951	氏家駅東地区魅力向上まちづくり基本構想策定支援業務委託を行う
鬼怒川河川公園管理事業	21,279	新たにドックラン設置工事（3,800千円）を行う
都市公園管理事業	78,815 (5,750)	都市公園施設更新工事（10,000千円）を行う
【道路ネットワーク整備】		
(新) 地方創生道整備交付金事業	374,000 (187,000)	市道と広域農道、一般農道を一体的に整備（2～6年度、総事業費2,352,000千円）
橋梁維持事業	69,000 (34,350)	氏家駅東西線の修繕・補修を行う（2～4年度、総事業費170,000千円）
3、文化薫る心豊かな人材の育成		
【学力・体力向上のための環境整備】		
(拡) 外国語教育推進事業	36,986	小中学校のALT（英語指導助手）の経費で、新たに英語検定試験検定料助成を行う（前年度比5,111千円増）
(拡) 学校ICT管理事業	187,952	小中学校のICT機器の整備、運用管理費用（前年度比63,733千円増）
課外「さくらスクール」事業	3,443 (300)	課外学習支援講師に関する経費
氏家体育館管理事業	20,976	新たにトレーニング室機器の整備（3,517千円）、エアコン設置工事（1,793千円）を行う
総合公園管理事業	114,479	多目的広場整備工事（76,000千円）を行う
【給食センターの早期整備】		
(新) 給食センター建設事業	14,807	建設に向けた基本構想（9,416千円）を策定

区分	予算額	事業内容
4、福祉の充実と安心の社会保障		
【地域包括ケアシステムの構築】		
(新) 高齢者保健介護一体的実施事業	4,944 (4,944)	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策などの高齢者保健事業と介護予防事業を一体的に実施する
(拡) 単位老人クラブ補助事業	2,154 (724)	活動を奨励するよう補助金の支出方式を変更 (対前年度901千円増)
(新) 基幹相談支援センター運営事業	2,173 (1,629)	障がいの種別や各種のニーズに対応できる総合的な相談支援を行う
(拡) 介護予防・生活支援サービス事業	80,186 (56,719)	要支援認定者等に対する訪問型・通所型の支援サービス (対前年度14,295千円増)
(拡) 介護入門研修事業	541 (140)	生活援助従事者研修を実施 (対前年度278千円増)
【待機児童解消と施設の充実】		
(拡) 民間保育園事業	831,384 (445,937)	新設保育園の開設に伴い、待機児童を解消する (前年度比133,085千円増)
(新) きつれ川幼稚園建て替え補助	301,000 (200,142)	認定こども園きつれ川幼稚園へ建て替えの補助を行う
(新) あおぞら保育園空調改修	12,188	熱中症対策として、園児室や遊戯室等の空調を改修する
【子育て世帯への支援の充実】		
(拡) 妊娠・出産包括支援事業	2,493 (1,246)	産前・産後サポート、産後ケア事業に関する経費。新たにアウトリーチ型支援を実施 (前年度比825千円増)
(拡) 利用者支援事業(母子保健型)	5,830 (2,602)	妊娠・出産・育児に関する相談に応じ必要な情報提供、助言、保健指導を行う (対前年度2,248千円増)
(拡) 放課後児童健全育成事業	36,104 (23,996)	新たに押上小・熟田小の延長保育時間を拡大、指導員キャリアアップ処遇改善補助 (前年度比8,536千円増)
(拡) 児童館管理運営事業	117,112 (55,708)	新たに上松山小、氏家小のクラブ数を拡大 (前年度比15,681千円増)
学童保育施設整備事業	25,323 (17,527)	上松山小学童施設整備工事(プール棟内部改修)
児童医療費助成事業	213,258 (53,390)	児童医療費助成(18歳まで現物給付を実施)に関する経費

区分	予算額	事業内容
5、災害復旧と防災・減災への対応		
【農地、農業施設、生活基盤の復旧】		
(拡) 農業施設災害復旧補助事業	3,000	小規模災害に対し、事業費の50% (激甚災害にあつては75%) を補助 (対前年度2,000千円増)
【防災・減災対策の推進】		
(新) 国土強靱化地域計画策定	7,700	総合計画・総合戦略策定と合わせて実施
(拡) 水防事業費	2,688	新たに想定浸水深標識製作・掲出 (喜連川市街地70基分) を行う (前年度比246千円増)
(新) 庁舎非常用電源整備事業	74,933	商用電源が断たれた場合においても市役所の業務の一部を継続するための電源(発電機)整備
(新) 農業用ため池防災減災対策事業	21,400 (21,400)	防災重点ため池ハザードマップの作成、施設長寿命化計画の策定
(新) 氏家公民館給排水等改修工事	145,000	避難所である施設の改修 (トイレの洋式化、バリアフリー、照明のLED化等) を行う
6、積極的なシティプロモーション		
【戦略的かつ効果的なシティプロモーション】		
(拡) シティプロモーション事業	24,585 (7,997)	プロジェクションマッピング等を活用したプロモーション展開に関する経費 (対前年度1,090千円増)
(新) オリパラ交流事業	5,832 (2,540)	ハンガリートライアスロン受入れ経費等、実行委員会への補助
(新) フットゴルフによる地域魅力向上事業	5,000 (2,000)	巡回バスや大会告知等、フットゴルフWC開催にあたって実行委員会への補助
【桜の郷づくり】		
(拡) 桜の郷づくり事業	10,000	桜の郷づくりアクションプランに基づく上阿久津区画整理地等樹種転換、市境お出迎え桜植栽工事等 (対前年度7,802千円増)
(拡) 桜つつみ維持管理事業	3,300	荒川・桜つつみ維持管理 (対前年度400千円増)
(新) 勝山公園再整備	13,500	樹種転換や園路整備を行い桜の見本園を目指す